

B ~ 1	0	2	0	2
B ~ 2	0	1	1	2
C ~ 2	80	60	23	163
C ~ 3	89	50	23	161
D ~ 3	63	46	18	127
合 計	232	159	64	455

(注) フィルム未送付地区は除く。

例年の定期検診に比し毎年漸減していることを知る。併しA~1, B~2群が少なくなったことに反しC~2 C~3, 群が増加(相対的)を来しているのを見れば結核患者で要治療の者が少なくなって来たが要注意者が多いのであるから今後の対策としてこのC~2, C~3群の中から再発又は発病を防止する事が重要であると思われる。

従って毎月1回の定例結核審査会は件数の激減によって2~3カ月に1回開催する事になった。1カ年間における取扱件数は94件である。現在結核による休職者実数は44名であるのに反し一般疾病による休職者は91名とこの率が過去数年前に比し全く逆の関係にある事は感概深い。

1 本県における児童・生徒の体位の概況

第一表(男)児童・生徒の年令別発育年次状況

区分	年 度	小 学 校						中 学 校			高 等 学 校				
		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
身 長	昭 23	108.1	112.8	117.5	121.9	126.1	130.0	134.9	139.5	145.8	154.8	158.3	160.5	—	—
	30	109.6	115.0	119.6	124.6	129.3	133.6	138.1	144.1	150.3	158.3	161.0	162.9	162.7	162.6
	36	111.4	116.2	121.3	126.2	130.8	135.7	141.2	148.0	153.6	160.1	162.8	164.5	164.0	163.7
	全国 36	112.0	117.3	122.4	127.2	131.9	136.8	142.3	149.2	155.5	161.8	164.0	164.6	164.5	—
体 重	昭 23	18.5	20.1	22.0	24.0	26.1	28.2	31.2	34.2	38.9	45.7	49.3	51.6	—	—
	30	15.5	20.6	22.4	24.9	27.8	29.7	32.8	37.0	42.1	49.2	51.8	54.3	55.2	55.5
	36	19.0	20.9	23.1	25.3	27.7	30.6	34.1	39.2	44.4	50.9	53.9	56.5	56.7	57.3
	全国 36	19.1	21.1	23.3	25.7	28.2	31.0	34.9	40.0	45.4	51.3	54.3	56.3	56.6	56.8
胸 囲	昭 23	56.0	57.7	59.6	61.3	63.0	64.7	66.8	69.0	72.3	77.0	79.6	81.8	—	—
	30	55.8	58.0	59.7	62.0	63.9	65.7	68.5	71.6	72.2	78.8	81.4	83.2	84.2	84.2
	36	56.4	58.1	60.1	61.9	63.3	65.9	68.3	72.1	75.8	80.5	82.8	84.4	85.1	85.8
	全国 36	56.5	58.3	60.3	62.2	64.1	66.3	68.8	72.3	76.3	80.3	82.7	84.4	84.8	85.1
座 高	昭 23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	30	62.4	65.1	67.2	69.4	71.5	73.2	75.2	77.9	81.4	85.9	87.7	89.0	88.8	88.6
	35	63.3	65.5	68.0	70.1	72.2	74.3	76.7	80.1	83.3	87.1	88.5	89.7	89.3	90.0
	全国 36	63.5	66.0	68.3	70.5	72.5	74.5	77.2	80.5	83.9	87.5	89.0	89.7	89.7	89.7

結核教職員の個人面接指導は例年の型の如く今年度も施行したが明年度よりは別な角度から指導をもちたいと思う。

結核審査委員会も今後は成人病関係、公務災害による疾病審査、あるいは休職をする程の必要を認めないと思われる疾病に対する審査も全部一括して結核のみの審査でなく分野を広める必要があるものと思される。

第 3 節 学 校 体 育

昭和36年度における学校体育の重点は、

- 1, 学校体育指導者養成実技講習と、これが伝達講習会によって体育実技の指導能力を高めること。
- 2, 体育研究指定校を中心として学習指導法の研究をすること。

以上の二つを中核として進めてきたが、初期の目的は達成されたと考えている。

特に体育研究学校における努力とその成果は年々顕著に現われ、各学校への刺戟と啓発には多大なるものがあつた。